

先日の9月1日は「防災の日」でした。防災の日のはじまりは1923年9月1日に起きた関東大震災にちなんで制定されています。今年は関東大震災から100年の節目にあたります。

日本赤十字社の調査では防災の日が1923年の関東大震災に由来することを「知らなかった」と回答した国民は49.2%。特に若年世代では由来を知らない人が多いという結果となりました。また、「どのような災害か内容までは知らない」と回答した人は35.9%、「全く知らない」と回答した人が8.4%で、過去の大規模災害に対する歴史認識が薄れている状況が判明しました。

地震や台風、津波などの自然災害が多い日本で、災害から身を守るため備えをしておくことはとても大切です。それに改めて気づかせてくれるのが「防災の日」、この機会にご自宅の防災対策について見直してみたいはいかがでしょうか。

▼INDEX▼

- 【技術関連情報】 ・SBT
- 【関連製品紹介】 ・スキャナデバイス検査
- 【お知らせ】 ・型番変更のお知らせ

■技術関連情報■

SBT

SBTとは「Science Based Targets」の略称です。日本語に訳すと「科学にもとづく目標設定」という意味で、温室効果ガス削減に向けて各企業が設定する5～15年後の温室効果ガス排出削減目標のことです。2015年のパリ協定（COP21）では「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃未満に抑える努力をする」という目標が示されました。

SBTに取り組む企業は、SBTi（SBTイニシアチブ、運営事務局のこと）に申請を行い、自社が設定した削減目標について「認定」を受けることができます。SBT認定の取得は、ステークホルダーに対して「サステナブルな企業である」ことのアピールにつながっていきます。

世界中で2023年3月までに、2554社の企業がSBT認定を取得しており、日本企業では2015年10月にソニーが最初の認定を取得し、2016年9月に第一三共、2017年には川崎汽船、コニカミノルタ、キリンホールディングス、コマツ、リコー、ナブテスコ等12社が参加し、以降急速に参加社数が増え、2023年3月現在で515社の日本企業がSBT認定されています。

このCO2削減の取り組みや再生可能エネルギーへの転換の動きは、大手企業だけでなくそのサプライチェーンに位置する中小企業にも波及し、515社の認定企業の内、345社が中小企業で占めています。

今後その影響は顕著に出ていくでしょう。この影響をプラスに捉える1番の方法は再生可能エネルギーの早期導入になります。現在様々な導入方法がある中、投資負担などに惑わされず賢くこの状況を活用できた企業は企業価値を向上させることができるでしょう。

当社も出来る範囲で環境に優しい企業を目指しております。

排出削減目標設定（環境省）

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/SBT_syousai_all_20230630.pdf

中小企業のSBT認定(JETRO)

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2023/26f141d8967a1f65.html>

SBTとは(一般社団法人CDP Worldwide-Japan)

<https://japan.cdp.net/science-based-targets-for-cities>

▼お問い合わせはこちら▼

<https://alt.mrc-s.com/contact/>

(菊地原)

■関連製品情報■

スキャナデバイス検査

弊社では、技術関連情報でご紹介した、スキャナデバイス検査でお客様のご要望にお答えしております。

お困りの案件がございましたら是非お気軽にお問い合わせ下さい。

▼お問い合わせはこちら▼

<https://www.alt.co.jp/scanner-inspection>

■お知らせ■

1. 型番変更のお知らせ

ALT-7600シリーズは従来波長別に型番が設定されていましたが、これを他機種と同じようにシリーズ名の後に波長で表示します。2023年9月より順次実施いたしますのでよろしくお願いいたします。

(従来)ALT-7620-R123

(新) ALT-7600-640-R123
